

2016年度 卒業研究 論文題目

◎ 基礎・健康開発看護学講座

➔ 看護アセスメント学分野

(指導教員 丸山良子)

- ・ 出生体重は若年成人の高血圧症・慢性炎症反応に影響を与えるか？
- ・ 男女差からみた出生体重と循環動態，自律神経活動，血清脂質，炎症反応の関連について
- ・ 体圧分散マットレスと 30 度側臥位の体圧分散効果に関する研究
- ・ 日常生活歩数と血圧・自律神経活動の関連について
- ・ タッチングが血圧と自律神経活動に及ぼす影響
- ・ 関係性の違いによるタッチングがもたらす自律神経活動および血圧への影響
- ・ 音楽聴取が自律神経系にもたらす影響—モーツァルト音楽に sedation 効果はあるのか？—
- ・ 好みの音楽聴取がもたらす自律神経活動・血圧への影響

(指導教員 菅野恵美)

- ・ Dectin-2 遺伝子欠損が皮膚創傷治癒過程に与える影響

(指導教員 丹野寛大)

- ・ (論文題目非公開)

➔ 看護教育・管理学分野

(指導教員 朝倉京子)

- ・ 男性看護師の離職に影響する要因の検討
- ・ 病棟看護師における業務中断の場面とその要因の文献検討
- ・ 女性看護師が家庭と仕事を両立し就業を継続するプロセス
- ・ 看護師の離職行動による職業コミットメントの比較
- ・ 看護師の学生指導における意識や態度の様相

➔ 老年・在宅看護学分野

(指導教員 尾崎章子)

- ・ 在宅・介護保険施設における死亡確認・死亡診断の現状に関する文献検討
- ・ 文献検討に基づく在宅医療におけるIT 活用方法の類型化

(指導教員 齋藤美華)

- ・ 地域在住高齢者の生きがい・やりがいに関する文献検討
- ・ (論文題目非公開)

➔ 公衆衛生看護学分野

(指導教員 大森純子、竹田香織)

- ・ 自殺問題への先行的取り組みを行ってきた地域における自治体主体の1次予防対策の現状と課題に関する文献検討
- ・ 高齢者の生きがいについての文献検討

- ・ 乳がん検診の受診を促すために－文献検討から分かる乳がん検診の受診行動を促進，または阻害する要因－
- ・ 東日本大震災被災者に与える音楽の心理的効果に関する文献検討
- ・ 一人暮らし男性高齢者のセルフケアに関する文献検討
(指導教員 原田奈穂子)
- ・ 「互助」の概念分析
- ・ 特定機能病院の外来における在宅療養支援に関する啓発ツールの開発と有用性の検証
- ・ 病棟退院後在宅療養を継続できた患者に対し、医療スタッフが行ったケアの特徴とそれを可能にした要因に関する質的研究
- ・ 特定機能病院における外来での在宅療養支援カンファレンスの実態および標準化に向けた試行
(指導教員 田口敦子)
- ・ 中国、韓国からの外国人旅行者における日本での医療機関の情報源についての調査

◎ 家族支援看護学講座

➔ 成人看護学分野

(指導教員 菊地史子)

- ・ 終末期がん患者に対するスピリチュアルケアについての文献検討-看護師が実践するスピリチュアルケア-
- ・ 終末期患者を支える家族に対するメンタルヘルスへの支援についての文献検討-看病中および死別後の家族のQOL の維持、向上に向けて-

➔ がん看護学分野

(指導教員 佐藤富美子)

- ・ がん患者に対する生殖医療の課題と看護師の役割に関する文献検討

(指導教員 佐藤菜保子)

- ・ 手術を受けた膀胱腫瘍患者の抑うつを経時的変化と症状との関連
- ・ 膀胱癌サバイバーの療養生活上の気がかりと心理的適応の要因に関する検討

➔ 緩和ケア看護学分野

(指導教員 宮下光令)

- ・ 東北大学病院の看護師のがん疼痛ケアの実践状況
- ・ 東北大学病院の看護師のがん看護に関する困難感の2010 年から2016年にかけての変化
- ・ 宮城県のがん関連認定看護師・専門看護師が所属病院の病院管理者およびがん診療連携協議会看護部会に期待すること
- ・ 緩和ケア病棟入院後1 週間未満で死亡した患者の特徴
- ・ 緩和ケア病棟のケアの質・遺族の悲嘆・抑うつの全国の地域による違い
- ・ 看護師の死にゆく患者への態度尺度「FATCOD-Form-B-J」のカットオフ値の検討

(指導教員 佐藤一樹)

- ・ 市町村別の自宅死亡率と医療社会的指標の地域相関分析 – 全自宅死亡との関連 –
- ・ 市区町村の自宅死亡率と医療社会的指標の地域相関分析-在宅緩和ケアを受けた自宅死亡との関連-

→ 小児看護学分野

(指導教員 塩飽仁、鈴木祐子、菅原明子)

- ・ 家族特性が大学生の対人不安感に及ぼす影響
- ・ 色彩象徴テストを用いた子供の病院環境に対するイメージ形成調査
- ・ 精神疾患を持つ患児の多職種による復学支援の実態調査
- ・ 学童期の遊びが大学生の共感性に与える影響
- ・ 幼少期のきょうだい葛藤と大学時代のきょうだい関係及びストレス耐性の関連
- ・ 発達障害をもつ中学生・高校生のQOL と家族の感情表出の関連

→ 精神看護学分野

(指導教員 齋藤秀光)

- ・ 在宅介護における介護負担感についての文献検討-認知症と神経難病を比較して-
- ・ 身体合併症を有する精神疾患患者のケアに対する看護師の思い-精神科看護師と身体科看護師を比較して-

(指導教員 吉井初美)

- ・ 選択性緘黙症の治療およびケアに関する国際動向
- ・ 日本及び諸外国におけるがん患者を持つ家族のメンタルヘルスとケアに関する研究動向
- ・ 統合失調症患者の認知機能に焦点を当てた就労支援
- ・ 広汎性発達障害児をもつ母親のストレスに関する研究動向

→ 周産期看護学分野

(指導教員 佐藤喜根子)

- ・ 助産師外来に対する助産師と産科医師の考え
- ・ 家庭における哺乳瓶の消毒に対する母親の認識と実態
- ・ 東日本大震災時に胎児だった子どもの現在の成長・発達とその父母の心身の健康状態との関係

(指導教員 小山田信子)

- ・ 明治期のテキストから見た、産婆の職業姿勢

(指導教員 佐藤眞理)

- ・ 在日外国人女性が健康に妊娠期を過ごすにあたっての困難感とその対応にあたる医療者の意識
- ・ HIV 抗体検査の利用しやすさ
- ・ 看護系雑誌にみる妊娠・分娩・子育てへの夫の関わり方の推移
- ・ 女性医療者が育児をしながら海外で働く意味

➡ ウィメンズヘルス看護学分野

(指導教員 吉沢豊子)

- ・ 冷え症と体水分量の関係—月経周期による比較—

(指導教員 跡上富美)

- ・ 父親のワークライフバランスに関する文献の日本と海外の現状比較
- ・ 生殖年齢にある女性の妊孕力自己認識尺度に関する文献検討—知識と自己認識の観点から—

(指導教員 中村康香)

- ・ 妊娠期のセルフケア向上に役立つアプリの検討
- ・ アクティブな活動を有する妊婦の特徴